
どうか今

久住 なつき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どうか今

【Nコード】

N2873S

【作者名】

久住 なつき

【あらすじ】

バイトの扉を開いたらまずは挨拶をする。

「今日もきつと何も変わらない事実に、自分に、傷つく。」

おはようございます。

バイト先に着いてドアを開けたらまずは挨拶。

そにいろのが気の良いおじさんやおばさんの時は正直気楽。
仲良くない同性の先輩だとちょっとしんどかったり。

ただの挨拶と言えばそれまでだけど

相手の反応に気分が上がったり下がったり。

いや、それによってふんわりとでも相手を好きになったり嫌いになったり。

そんなものなんじゃないかと思う。

「おはようございまーす」

「あ、おはようございます」

ドアを開けると道川さんがいた。

ちょうどバイト着に着替えを済ませ、男性用更衣室から出てきたところだった。

道川さんはバイト先では私より先輩だけど、年齢だと年下。

そのためお互いがお互いに敬語を使い続けたままもう半年が経つ。

（つて言ってもあんまり話したこと無いんだけど。）

年下だけど背が高く、落ちて着いた声で大人っぽく見える。

しかし「あはは！」と声を上げて笑う時の笑顔が別の表情を見せつける。

それを知ると今度は“同い年”でなく“年下”というのがやけにツボに入った。

必要最低限の挨拶を済ませ、私は女性用更衣室へ入る。

（今日は道川さんと一緒かあ）

どうせ今日も喋ることなんて出来ないと分かっているのだけど。
さっきの挨拶の時も目を合わせることも出来なかったけれど。

偶然バイト帰りにコンビニで会った時、思い切って話しかけたけど
その時のいまいちな反応に私の勇気はいとも簡単にしぼんでしまっ
たんだ。

今日も目を合わせることもすら出来ないのかもしれないけれど。

新人の時、緊張していた私に気さくに話しかけてくれた。

うまく喋れない私を笑ってくれた。その日から私は。

入り時間に遅れないように、仕事以外のことを頭から消すように
ちやっちやと着替えを進める。

今日もきつと何も変わらない事実、自分に、傷つく。

私がこのバイトをやめるまで、あと二週間。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2873s/>

どうか今

2011年10月3日01時32分発行